

科目名	社会心理学			ナンバリング	PSY551	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	集中(前期)	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	佐藤拓	担当教員					

授業の概要	社会心理学の各トピックを学ぶことにより、日常生活の人間関係や、ニュース等で報道される事象を科学的な視点から理解することを目的としている。社会的認知、自己、言語・非言語コミュニケーション、態度、集団、文化、および援助行動や攻撃などのテーマについて、これまでに提唱された理論とその根拠となった実験・調査、および問題点を学び、社会のさまざまな場面で生じる人間関係や、人間と社会のかかわりを捉える指針を修得する。						
到達目標	1. 社会心理学の基礎となる理論を説明することができる 2. 社会心理学の視点から日常生活を捉え直すことができる 3. 上記の内容をレポートにまとめることができる						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	1. 「人間と社会」を履修済みであることを想定した授業内容を展開する。 2. 最終レポートの作成のために、学外で調査を行う場合がある。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①自分の設定した社会心理学のテーマに関連する情報を集めるている。 ②観察法、または面接法を用いて社会的行動に関するデータを収集できる。 ③収集した情報・データを、社会心理学の知見を用いて説明している。	①自分の設定した社会心理学のテーマに関して独自の情報や事例を集めている。 ②観察法、または面接法を用いて社会的行動に関するデータを適切に収集できる。 ③収集した情報・データを、社会心理学の知見を用いて複数の観点から説明している。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○					40%
宿題・授業外レポート	○	○					50%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	1. 授業内で行った課題について授業内、およびmanab@IMUでフィードバックを行う 2. 毎回の質問に対しては、次回の授業の冒頭で説明を行う
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	イントロダクション	講義全体の流れ、グループワークの方法、毎回の課題提出の方法について説明する。	
	第2回	言語的コミュニケーション	言語的コミュニケーションの特徴について説明する。	
	第3回	非言語的コミュニケーション	非言語的コミュニケーションの特徴について説明する。	
	第4回	感情(1)	感情に関する基礎知識を説明するとともに、感情の機能について議論を行う。	
	第5回	感情(2)	感情に関する理論、および根拠となった実験について説明する。	
	第6回	感情(3)	幸福感に関する社会心理学的研究について説明する。	
	第7回	自尊心(1)	自尊心に関する社会心理学的研究について説明する。	
	第8回	自尊心(2)	ソシオメータ理論を説明し、自尊心の機能について議論する。	
	第9回	攻撃行動	攻撃行動に関する理論、および根拠となった実験について説明する。	
	第10回	向社会的行動	向社会行動に関する理論、および根拠となった実験について説明する。	
	第11回	文化	心理的機能に対する文化の影響について説明する。	
	第12回	フィールドワーク(1)	仮説生成型の研究スタイルとして、フィールドワークについて概説する。	
	第13回	フィールドワーク(2)	フィールドワークの基本スキルである観察法を説明する。	
	第14回	フィールドワーク(3)	フィールドワークの基本スキルである面接法を説明する。	
	第15回	まとめ	第1回から第14 回までの授業の要点、および関連を整理する。	
	試験	期末試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とするが、ペア/グループ・ワークも行う。		
授業外学習の指示		各回のキーワードを参考に事前に内容を予習し、授業後は配付資料を中心に講義の内容を復習する。 必要に応じて、授業時間外にデータの収集を行う。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	指定しない。講義内で配付する資料を参考にすること。
参考書	大坪 庸介・SMITH Adam, 『英語で学ぶ社会心理学』, 有斐閣, 2017年(定価:2400円+税), ISBN: 978-4-641-18436-7 箕浦康子, 『フィールドワークの技法と実際—マイクロ・エスノグラフィー入門』, ミネルヴァ書房, 1999年(定価:2300円+税), ISBN 978-4623030040
参考URLなど	
その他	manab@IMUを用いて課題・リフレクションシートの提出が求められるので、その操作に慣れておくこと。